

# 薬系技官の職務とは

## 厚労省 安川薬事企画官に聞く

日本薬学生連盟

“薬系技官”という職業を耳にしたことはあるでしょうか。国家公務員として厚生労働省で薬剤師に関する制度作りなどを担当されている方々のことです。今回は、薬系技官の1人である厚労省医薬・生活衛生局薬事企画官の安川孝志さんにお話し、日本薬学生連盟広報部の山沢智（日本薬科大学）、小林幸恵（東邦大学薬学部）らが聞き手となって、謎に包まれたお仕事の内容や、今後の薬剤師を取り巻く環境の変化などについて教えていただきました。



安川さん（右上）に、山沢（左上）、小林（左下）らがテレビ会議システムで話を聞いた

### 薬剤師に関する制度を整備 現場を視察し検討重ねる

—薬事企画官としての職務を教えてください。

薬事企画官とは薬系技官が配属される役職の一つです。国家公務員である私たちは、世の中のルールを作っていくことが仕事であり、その中でも、厚労省の薬系技官は薬剤師に関するルールを作っています。例えば、薬学教育や薬剤師国家試験の問題、薬剤師のあり方、医薬品の認可、研究開発などに関する制度を作ることが仕事になります。

薬事企画官は、厚労省の医薬・生活衛生局総務課に所属しています。医薬・生活衛生局総務課は、薬剤師のあり方や薬局・医薬品販売業関係の政策、例えば地域医療への関わり方、セルフメディケーション、医薬品の販売制度などについて考えている部署であり、薬剤師の職務に関する全般を取り持っています。

政策立案から実施までのプロセスに関わるため、現場を知る目的で視察も行います。現場の声をもち帰ってルールの改正や作成を議論し、検討を重ねています。これからの薬剤師の道筋を作っていくため、責任を持って職務を行っています。

—様々な現場を見に行くことがで

きるのは魅力的ですね。

そうですね、最先端のものを見に行ける楽しさや喜びはあります。日本だけではなく、世界中の専門家や第一人者の方々に話を聞きに行けるのは、まさに国家公務員の特権であると思います。多様な分野を知りたいという人にとって、厚労省で働くことは非常に面白いと思いますし、やりがいは非常に大きいです。

—国家公務員を目指したきっかけや就職の決め手は何だったのでしょうか。

私は1997年に京都大学薬学部を卒業し、同年4月に厚生省（現在の厚労省）に入省しました。当時、私の周りにいた多くの薬学生にとって、大学院に進み研究をすることは当たり前でしたが、私は研究の道には行きませんでした。研究自体は好きでしたが、一つのことをやり続けるのは向いていないと気づき、研究を仕事にしている人には敵わないと思ったからです。薬剤師として業務をするか、薬剤師のルール作りを行う厚生省に就職するか、二つの道を考えていました。

最終的に、薬剤師として現場で業務をすることも大事ですが、その人たち

のために何かできる仕事をしてみたいという思いがあり、厚生省へ就職しました。

国家公務員は2年に1回のペースで異動があり仕事内容が変わります。私も就職して24年目ですが、13カ所

目の部署です。薬の審査や安全対策、食品安全など様々な部署で仕事をしましたが、医療や薬剤師に関することに興味があって就職したので、現在の部署の仕事にはやりがいを感じています。

### 薬局に行くメリット問われる 電子化に対応し職能発揮を

—薬局や薬剤師に関する制度作りを担当している安川さんから見て、薬局や薬剤師は今後どのように変化していくと思われますか。

医薬分業が進み始めた平成の初めの頃、薬局は院外処方箋の受け皿として、処方箋をどう受け取り、調剤して薬を渡すかということが一番大事でした。医薬分業の進展とともに薬局の数は増えていきました。一方で、医薬分業が進み、外来患者の7割以上が院外処方箋を受け取る状況になってきて、今度は、薬局に行くメリットは何だろうかということが問われ始めています。

薬局は、単に薬をもらって終わりというイメージが強く、薬剤師とは何をしてくれる人なのか、利用者目線からするとピンと来ていないと思います。

在宅医療や介護の現場でも薬剤師が必要となる場面は多いはずですが、医療や介護の関係者にも、まだその存在意義を十分知られてはいません。例えば、高齢者が薬をいっぱい飲んでいて大変そうでも、その方の介護に関わる介護関係者が薬剤師に相談しようという発想にはならないことが多いでしょう。

「薬学生」  
必見

## 薬事法規・制度の内容を実務と紐付けられる！

# 薬局実務実習に行く前に 知っておきたい 法律知識

[著者] 白神 誠 A5判/203頁/定価 2,000円+税



薬学生が実務実習に向けて知っておくべき法律知識を会話形式でわかりやすく解説。実務の内容と関連する法規・制度を結びつけた学習ができる一冊。

#### POINT

- 実務に沿った会話形式で解説することで、その場面を思い描きながら学べる。
- 項目ごとに要点をまとめた「Key points」を記載し、知識の整理ができる。

◎実務実習（事前学習）用のテキストとしてはもちろん、国試対策にも役立ちます。

#### 【もくじ】

- 第1章 はじめに
- 第2章 薬局実習その1
- 第3章 薬局実習その2
- 第4章 薬局実習が終わって
- 第5章 病院実習
- 第6章 実習が終わって



詳細・購入はこちら

薬事日報社 書籍のご注文は、オンラインショップ (<https://yakuji-shop.jp/>) または、書籍注文FAX03-3866-8408まで。